



市 Facebook や Instagram では、広報紙に掲載できなかったものも含めさまざまな市の話題を紹介中です。ぜひご覧ください。



市長から委嘱状を受け取る榎田さん

## 地域おこしへの貢献を誓う 6/1

新たな地域おこし協力隊員が着任

伊豆の国市として8人目となる新たな地域おこし協力隊員、榎田幸平さんが着任しました。今後は、伊豆長岡温泉エリアマネジメントに拠点を置き、伊豆長岡温泉をはじめとした地域のブランドや魅力向上のため、イベントの企画や運営、情報発信などの仕事に携わります。榎田さんは「地域の人との交流を大切に、コツコツとやっていきたい」と意気込みを語りました。

## 6/6 障害物に立ち向かえ！

大仁小学校でメリダキッズクラブ体験会を開催

メリダジャパン株式会社は、マウンテンバイク(MTB)の楽しさを体験することを目的に、大仁小学校でMTBの体験会を開催しました。「自転車を活用した地域づくりに関する連携協定」の事業の一環として行われ、4~6年生の児童24人が参加しました。はじめは運転に苦戦しながらも、だんだん上達していき、最後はコブが設置されたコースを軽やかに乗り越えました。



真っすぐゆっくりに走ることに挑戦



スタッフと会話をしながら買い物

## 家の近くでいつもの買い物 6/6

市内で移動スーパーが始まりました

交通手段の不足などで買い物に行くことが困難な市民の買い物ニーズに寄与することを目的に、マックスバリュ伊豆長岡店が移動スーパーを開始しました。冷蔵・冷凍に対応した車両を使用し、総菜や生鮮食品、菓子、日用品など約500品目を販売します。大北公民館で利用した久保田さんは「馴染みのあるスーパーの商品が近所で買えるのはうれしい」と話し、買い物を楽しみました。

## 6/11 江間の誇り「義時」を偲んで

第2回義時・江間まつりが開催

義時・江間まつりは、北条義時の命日を偲んで、江間郷土研究会が主催して行われるイベントで、今年が2回目となりました。天候が心配されましたが雨も上がり、約1,000人が来場して、江間公園をにぎわせました。昨年好評だった女子が対象の「未来の八重姫選手権」に加え、今年は男子が対象の「未来の義時選手権」も開催。子どもたちは弓矢を力いっぱい飛ばしていました。



未来の義時選手権の様子



講師の杉村ゴンエルテネハタン氏

## 異文化を学んで築く友好 5/21

市友好都市交流協会がモンゴル国講座を開催

モンゴル国講座が開催され、約80人が県地域外交専門官である杉村氏の話に耳を傾けました。また、モンゴルに関する展示品が並んだほか、モンゴルミルクティーの試飲も行われました。市では、8月に市長や市議会議員、友好都市交流協会、中学生らをメンバーとした訪問団が、友好都市交流に関する覚書を交わしているウランバートル市ソングノハイルハン区を訪問する予定です。

## 5/24 豊かな水の供給を願って

下畑水源地と宗光寺水源地で「水神祭」が開催

水神祭は、豊かな水の恵みへの感謝と水の安定供給・水道工事の安全を祈願して、毎年開催されています。神主によるおはらい・祝詞奏上や、玉串拝礼が行われた後、上下水道協同組合の佐藤理事長は「豊かな水の供給が長く続くよう願っている」と話し、市長は「水道水を安心して使っているのは幸せなこと。水源を守っている地元の方々に感謝したい」と述べました。



神主による祝詞奏上



子育てについて活発に話す様子

## 子育ての悩み解決の助けに 5/26

市家庭教育支援員による「ちょこっトーク」を開催

保護者同士が打ち解けて話し合える場を作り出し、日頃の悩みやストレスを軽減することを目的に「ちょこっトーク」を開催しました。「ちょこっトーク」とは、静岡県養成講座を修了した家庭教育支援員を幼稚園・保育園・小学校に派遣し、子どもに関するトークテーマをもとに話し合いや情報共有をするものです。今後も場所を変え、年間を通して開催される予定です。

## 5/31 ぷらっと気軽に交流を

「まちづくり団体プラットフォーム」設立会を開催

市民が主役のまちづくりを推進するため、「まちづくり団体プラットフォーム」を設立しました。これは、多様な団体などの出会いや情報交換ができる場を提供し、市民が主体的に取り組む活動を支援することを目的としています。誰もがぷらっと気軽に参加できるような場を作りたいという思いのもと「ぷらっといすのくに」という愛称が付けられました。



グループごとに団体紹介や情報交換